

令和9年度 リージョナルシアター事業

実施団体募集



双葉小学校3年生「おとしものがたり」アウトリーチの様子（岩手県釜石市）／令和7年度

リージョナルシアター事業は演劇の表現者を公共ホールに派遣し
演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する事業です。

地域の課題や展望などを踏まえながら、演劇の手法を使ったワークショップを企画し、実施する事業です。
子どもたちに向けた学校でのアウトリーチ、学校の先生や行政職員、地域の人々に向けたワークショップなど、
地域独自の様々なプログラムをホールと派遣アーティストが共同で企画できます。
創造性豊かな地域づくりに取り組むとともに、公共ホールスタッフ等の企画・制作能力向上、ホールの活性化も期待できます。
ぜひ新しい取り組みにチャレンジしてみませんか？

演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する団体を募集しています！

リージョナルシアター事業は、演劇の表現者を公共ホールに最大3回派遣し、公共ホールとともに実践的なワークショップを企画・実施する事業です。

<実施の流れ>

①全体研修会（令和8年11月16日・17日開催予定）

実施団体担当者と派遣アーティストが1泊2日で地域創造に集まり、地域や実施プログラムについての共通認識を持ち、情報交換・企画検討を行う。



②下見派遣（令和9年4月以降）

派遣アーティストと地域創造担当者が原則1泊2日で現地を訪問。打合せと会場下見等を行う。



③プログラムの実施 <実施時間計840分>

派遣アーティストとアシスタント、地域創造担当者が原則3泊4日×2回、または5泊6日×1回で現地を訪問。プログラムを実施し、最終日にフィードバックを行う。

<経費負担>

一般財団法人地域創造が負担する経費

- 派遣アーティスト及びアシスタント（2名）の派遣経費（謝金、交通費〔現地移動費を除く〕、宿泊費等）

実施団体が負担する経費

- 研修会参加にかかる経費（担当者の交通費、宿泊費等）
- プログラム実施の際の会場使用料、機材使用料、現地移動費、消耗品費等

事業の実施例

豊かな発想力とコミュニケーション力を育む ～小学校でのアウトリーチ～



「表現する楽しさ」と、お互いに意見を出し合うことで「コミュニケーションすることの難しさと楽しさ」を感じてもらいました。教員からは、「イメージを共有し自分たちで自由に想像し考えることができた」「子どもにとって自然とお互いを理解できる楽しい授業になると感じた」と好評でした。

地域やホールの魅力を再発見する ～街歩きやホール探検ワークショップ～



派遣アーティストとともに街やホールを探検。想像力を働かせながら新たな視点で楽しむことで、地域やホールの魅力を再発見してもらうとともに、公演鑑賞以外のホールの役割を市民に知っていただく機会となりました。

地域を知り、交流を深める ～地域の拠点でのワークショップ～



高齢者が日頃から集っている施設や古民家を改装した地域の憩いの場で、ワークショップや朗読劇を行いました。演劇の手法を使ったワークショップの実施や、地元の方々への取材を基に創作した作品を上演することで、お互いの理解や地域への関心が深まりました。

申込方法

地域創造ウェブサイト（<https://www.jafra.or.jp/>）より事業申込書及び実施計画書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し

令和8年8月14日（金）までに地域創造に提出。（地域創造必着）

お問合せ

一般財団法人地域創造 芸術環境部（担当：藤原・嶋崎）
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階
TEL：03-5573-4124 MAIL：regional@jafra.or.jp
URL：https://www.jafra.or.jp/



地域創造WEBサイト



リージョナルシアター事業について実際の事業の様子を紹介しています！是非ご覧ください！（YouTube）

実施要綱や派遣アーティスト、これまでの事業実績、事業内容など詳細は地域創造ウェブサイトまたは、上記お問合せ先までお気軽にお尋ねください。
Zoom（日時応相談）での相談も承ります。（お気軽にご相談ください！）